

社団法人地盤工学会 平成 21 年度 第 6 回 理 事 会

議 事 録

日 時 : 平成 21 年 11 月 27 日 (金) 12 : 30 ~ 15 : 10		場 所 : 地盤工学会大会議室	
出席者 :			
浅岡 顕 会 長	風間 基樹 総務部長	坪田 邦治 理 事	江藤 芳武 理 事
西垣 誠 副 会 長 (兼災害担当兼企画部長)	西本 聡 会員・支部部長	原田 健二 理 事	三藤 正明 監 事
	古関 潤一 国際部長	谷 和夫 理 事	谷 茂 監 事
高橋 邦夫 副 会 長 (兼基準部長)	三村 衛 会誌部長	岩田 英二 理 事	
	古屋 弘 事業部長	大塚 悟 理 事	
村上 章 副 会 長 (兼総務担当)	川邊 敏弘 調査・研究部長	李 圭太 理 事	
	奥野 哲夫 理 事	中井 正一 理 事	

【事務局】戸塚事務局長，浅野次長兼総務・経理課長，鈴木一般事業課長，下山刊行事業課長
注) : 出席、× : 欠席

- * 定款 34 条に則り理事出席者 19 名が定足数 (13 名、定員 19 名の 3 分の 2) を満足している事を確認し、理事会の成立が報告された。
- * 議事録署名者として、風間 基樹、坪田 邦治を選出した。

議 題 :

議 事 録 確 認

- 1 . 理事会議事録 (案)(9/28) [別紙 - 1] pp. 1-9
- 2 . 運営連絡会議議事録 (案)(10/23) [別紙 - 2] pp. 10-11
- * 上記、両方ともに満場一致で承認された。

審 議 事 項

総 務 部

- 1 . 平成 22 年度事業方針・計画案 [別紙 - 3] pp. 12-19
 - * 風間部長より説明がなされ、今後、何度か理事会で議論して完成することとした。今回は、各自、持ち帰って、十分吟味した結果を次回に審議することとした。
- 2 . 平成 22 年度第一次予算案 [別添資料 - 1], [別紙 - 4] pp. 20-21 (当日配布)
 - * 坪田理事から、H21 年度決算見込みと H22 年度第一次予算について、説明がなされた。H21 年度決算見込みについては、予算との対比で、収支差が -860 万の減額となる見込みとされ、年度内でその減額を回復させる対策案が提示された。なお、DB 資金を特定資産として積まない場合には、+750 万の収支差となる見込みも提示された。この点については、決算までに、審議することとなった。
 - * H22 年度第一次予算については、事業活動、投資活動、財務活動毎の収支について説明がなされ、特に事業活動収支差 -2,000 万を改善する対策案が提示された。これについては、第二次案提出期限が 12 月 7 日とされていることから、各部で今後の審議を行うこととした。
- 3 . 受託研究受入の流れ案およびそれに伴う規程の変更 [別添資料 - 2]
 - * 風間部長から説明がなされた。緊急時の受託についての質疑応答がなされ、総務部で臨機応変に早急な対応をとることで了承された。なお、運用上、常時においても早期の手続きを行うこととし、H21 年 11 月 28 日施行とすることが満場一致で承認された。

4. 平成 22 年度会長、副会長一次候補者案

〔回収資料〕(当日配布)

* 回収資料を基に審議され、満場一致で承認された。なお、留意点として、土木出身者のみならず、建築系、応用地質系も考慮することが望ましいとの意見もあった。

* 投票は、12月15日投票、12月16日開票との予定が紹介された。

5. 専務理事選任の件

* 風間部長が就任し、文科省へ回答することを満場一致で承認した。なお、専務理事は、非常勤、無報酬とすることも満場一致で承認された。

6. 会計規程の変更

〔別紙 - 5〕 pp. 22-25

* 坪田理事から説明がなされ、満場一致で承認された。

災害連絡会議

* 特になし

企 画 部

* 特になし

会員・支部部

1. 本部支部懇談会 (H21.11.27(金)15:30~) 議題(案)ならびに関連資料

〔別紙 - 6〕p. 26,〔別添資料 - 2~3〕

* 西本部長から説明がなされ、満場一致で承認され、当日の懇談会に提出することとした。〔別添資料 - 5~7〕(当日配布)

* 今後の会員数の予測、女性会員の増加、関連学会との合併も視野に入れることなどが議論されたが、現在策定中である中長期ビジョンの見直し案のなかでできるだけ議論していくことで了承された。

2. 特別会員の表彰に関する細則の変更

〔別紙 - 7〕 pp. 27-30

* 西本部長から説明がなされ、H22年度から変更案で表彰を実施することの提案が満場一致で承認された。

3. 地盤工学会会員名簿発行中止の件

〔別紙 - 8〕 pp. 31-32

* 西本部長から、今後、会員名簿を電子発行に移行する説明がなされた。以降に際して、JISに無い漢字などの扱い、別途協議されている技術者DBなどと関連することから、継続審議とすることを満場一致で決定した。

4. 新規入会希望者(平成21年11月1日入会)

〔別紙 - 9〕 pp. 33-36

* 西本部長から説明がなされ、満場一致で承認された。

国 際 部

* 特になし

会 誌 部

* 特になし

事 業 部

1. 新刊本出版計画書

〔別紙 - 10〕 pp. 37-41

* 古屋部長から説明がなされ、満場一致で承認された。

2. 2009年度販売促進キャンペーン

〔別紙 - 11〕 p. 42

* 古屋部長、李理事から、セット販売などのキャンペーンを実施する説明がなされ、満場一致で承認された。なお、継続した販促キャンペーンはひとまず、今年度で廃止することも満場一致で承認された。

調査・研究部

* 特になし

基準部

1. 「地盤材料試験の方法と解説」の著者割引販売

・前例にならない、著者に対して初版を限定として、会員特価の半額にて頒布できる権利を提供したい。

*江藤理事から報告事項とすることの説明がなされ、上記の特典が承認された。

予備審議事項

総務部

1. 公益法人化の件

[別添資料 - 3]

- 1) 公益社団法人地盤工学会規則(変更案)
- 2) 理事会等運営規程(変更案)
- 3) 総務部規程(変更案)
- 4) 会員に関する規程(新規案)
- 5) 常勤役員の報酬規程(新規案)
- 6) 特定資産の各規程案および資金積立額・取崩額
- 7) 会費収入の公益事業会計(共通)と法人会計に配分する率
- 8) 申請書類の確認(事業・組織体系図)
- 9) 申請スケジュール案

*上記について、風間部長と、坪田理事により説明がなされ、本資料を見て、総務部まで意見を提出することとし、次回に詳細を審議することが承認された。なお、上記 8)について、収益会計を記載していないが、発生時に変更することで対応することを説明し承認された。また、全会員への周知徹底を図るために、現在の進行状況および申請スケジュールなどについて、学会誌 H22 年 2 月号に 16 ページ程度の報告(まえがき、定款・規則、事業組織図、作成書類一覧表など)を掲載(12 月運営連絡会議に提出し承認された内容)することが満場一致で承認された。

2. 公益法人化に伴う「地盤工学会中長期ビジョン 2005」の見直し(暫定版)

[別添資料 - 7](当日配布)

*大塚理事から PPT を用いて、会員数の予測などを含めて、各項目の中長期的課題と重点目標について説明がなされ、現在策定中の方向で作業を継続することが満場一致で承認された。

報告事項

総務部

1. 経理関係報告

[別紙 - 12] p. 43, [別添資料 - 4]

2. 九州支部監査報告

[別紙 - 13] pp. 44-45

3. 支部交付金の交付額(前期分)

[別紙 - 14] p. 46

*上記、1)~3)について、坪田理事から報告がなされた。特に 2. について、領収書の宛先については、九州支部以外でも同様な指摘事項となることから各支部とも留意してほしいとの説明がなされた。

4. 広報関連報告

[別紙 - 15] pp. 47-48

1) 文京アカデミア夏休み親子実験教室

*上記について、好評裡に終了したことが、奥野理事から報告がなされた。

5. 表彰委員会委員の交代

- ・古関潤一 委員兼幹事 大塚 悟 氏：長岡技科大(委員兼幹事)
- ・中野正樹 委員 小野 丘 氏：北海学園大(委員)
- ・西本 聡 委員 末政直晃 氏：東京都市大(委員)
- ・原田健二 委員 大東憲二 氏：大同大(委員)
- ・古屋 弘 委員 中村裕昭 氏：地域環境研究所(委員)

*上記について、風間部長から交代理由とともに、報告がなされた。

6. 第54回地盤工学シンポジウム優秀論文賞受賞者 〔別紙 - 37〕 p. 104(当日配布)
 *上記について、3編の優秀論文賞が選定されたことについて、風間部長から報告がなされた。
7. 平成22年度事業計画まえばん作成依頼 〔別紙 - 16〕 pp. 49-54
 *上記について、風間部長から報告がなされ、各部ともに、最終的に2月5日までにまとめることとした。
8. 第3期代議員の支部推薦依頼 〔別紙 - 17〕 pp. 55-58
9. 公益法人化の件
 1) 文部科学省への回答案 〔別紙 - 18〕 pp. 59-60
 2) 学会誌への公益法人申請内容の原稿執筆の件
10. 事務局職員の勤務延長・異動 〔別紙 - 19〕 p. 61
 *上記、8~10について、風間部長から報告がなされ、8について、12月4日までに支部推薦を提出することとされた。また、10については、浅野次長の勤務延長、職員(永田、長尾、古藤田)の移動について報告された。
11. その他
 1) 九州支部60周年記念行事(記念講演会、記念式典、祝賀会) 〔別紙 - 20〕 p. 62
 2) 訃報: 功労章受章 三谷 健氏(日本建設機械化協会施工技術総合研究所 最高顧問)の逝去(21.11.8逝去)
 3) 鹿島学術振興財団2009年度研究助成の推薦 〔別紙 - 21〕 pp. 63-64
 4) 土木学会国際貢献賞及び国際活動奨励賞候補者の推薦依頼 〔別紙 - 22〕 pp. 65-72
 5) 阪神・淡路大震災15周年フォーラム開催計画(共催) 〔別紙 - 23〕 pp. 73-75
 6) (財)震災予防協会の活動停止 〔別紙 - 24〕 pp. 76-78
 7) 地下室プロジェクターの交換 〔別紙 - 25〕 pp. 79-80
 8) 共催、後援、協賛等の依頼
 「第47回粉体に関する討論会」の協賛 主催: 第47回粉体に関する討論会 H21.11.30-12.2
 「地震動研究の推進と土木構造物の設計地震動に関する講習会」の後援 主催: 土木学会 H21.12.1
 「平成21年度地盤改良用石灰セミナー」の後援 主催: 日本石灰協会 H21.12.8, 22.2.24
 「HPI技術セミナー」の協賛 主催: 日本高圧力技術協会 H22.2.4-5
 「第3回日本耐震グランプリ」の後援 主催: 日本耐震グランプリ実行委員会 H21.11.16
 「第10回鉄道騒音国際ワークショップ」の協賛 主催: 鉄道総合技術研究所 H22.10.18-22
 「ワンデーセミナー・地震波干渉法」の後援 主催: 物理探査学会 H22.1.29
 「第5回土砂災害に関するシンポジウム」の後援 主催: 土木学会西部支部 H22.8.10-11
- 9) HP・メールニュース等による会員への周知
 「鋼構造研究・教育助成事業」の会員への周知依頼 日本鉄鋼連盟よりの依頼
 「多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究等のための研究・活動助成の募集」
 の会員への周知依頼(H22.1.15締切) とうきゅう環境浄化財団よりの依頼
 「日本アンカー協会 研究助成候補の募集」の会員への周知依頼(H21.11.30締切) 日本アンカー協会よりの依頼
 *上記について、風間部長から報告がなされた。3)については、2件の応募があり、そのまま推薦したこと、4)の国際貢献賞について、1月20日までに推薦することが必要との報告がなされた。

災害連絡会議

1. 2009年Morakot台風による台湾の被害調査報告会 〔別紙 - 26〕 p. 81
 *風間部長から、参加費としての500円の資料代のみで参加できることが報告された。

企画部

*特になし

会員・支部部

1. 新規入会希望者(平成21年10月1日入会) 〔別紙 - 27〕 pp. 82-86

(平成21年10月23日運営連絡会議審議・承認)

*西本部長から、運営連絡会議にて審議・承認事項として報告がなされた。

国際部

*特になし

会誌部

1. 「地盤工学会誌」12, 1月号の発行、目次 〔別紙 - 28〕 pp. 87-90
 - ・12月号: 11月25日納本予定、11月28日発送予定
 - ・1月号: 12月25日納本予定、12月28日発送予定
2. 「Soils and Foundations」Vol.49, No.6の発行、目次 〔別紙 - 29〕 p. 91
 - ・12月25日納本予定、12月28日発送予定
3. 「地盤工学ジャーナル」Vol.4, No.4の発行、概要 〔別紙 - 30〕 p. 92
 - *三村部長から報告がなされた。

事業部

1. 事業部既刊本の見直し
 - 1) 「入門9.地盤工学数式入門」: 絶版(在庫切れ後)
 - 2) 「ジオテクノート3.有効応力」: 絶版(在庫切れ後)
2. 既刊本の増刷
 - 1) 入門34.地下水を知る: 500部
3. 新刊本の初版印刷部数と価格
 - 1) 入門37.はじめて学ぶ土壌・地下水汚染
初版印刷部数:700部 会員価格:3,360円 定価:4,830円(いずれも消費税込み)
4. 翻訳出版依頼 〔別紙 - 31〕 pp. 93-95
5. 事業企画賞候補選定に関する細則 〔別紙 - 32〕 pp. 96-97(差替)
6. 地盤工学・実務シリーズ「近接施工法編集委員会」委員の交代、追加
 - ・交代: NTTインフラネット(株): 荒田正司氏、東京都下水道局: 家壽田昌司氏
 - ・追加: 東京電力(株): 佐藤裕明氏、鹿島建設(株): 實松俊明氏
7. 平成21年度講習会収支報告
9,10月

講習会名	会場	収入予算 (円)	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日		収入実績(円) A		支出実績(円) B				
建設工事における環境保全技術講習会	JGS会館	385,000	10	10	0	0	40	20	50%
	9月8日		230,000		292,354		-62,354		
第1回地盤の連続体力学入門講習会	JGS会館	531,000	12	4	7	0	42	23	55%
	9月15日		111,000		122,865		-11,865		
わかって使うFEM講習会	JGS会館	990,000	19	3	1	0	18	23	128%
	9月28~30日		1,280,000		626,528		653,472		
海外工事・国際協力講習会	JGS会館	77,000	10	2	1	0	-	13	-
	10月20日		77,000		52,240		24,760		

21年度5月～これまでの合計見込み

収入実績(見込み)	収支差の実績(見込み)
8,040,000	4,057,465

*上記について、古屋部長から報告がなされた。4については、ウォン安により3条の変更を行ったことが報告された。また、5については、選考過程をより明確にするために変更したことの報告がなされた。

8.平成21年度講習会企画(案) [別紙-33] pp. 98-99

- 1)「既設構造物直下の液状化対策工法」講習会
- 2)「地盤の連続体力学入門」講習会
- 3)「地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために-地盤工学からの提言-」講習会

9.平成22年度講習会企画(案) [別紙-34] pp. 100

*上記、8~9について、8の3)が新規に追加されたことを含めて古屋部長から報告がなされた。

調査・研究部

1.地盤工学研究発表会支部還付金の支部還付金に関する申し合わせの改正 [別紙-35] pp. 101-102

2.第44回地盤工学研究発表会

- 1)決算報告 [別紙-36] p. 103
- 2)支部還付金

*上記について、川邊部長から報告がなされた。2について、決算報告を参考に収支差の半額を支部還付金とすることを含めて報告がなされた。

基準部

1.委員の追加

- 1)ISO/TC190国内専門委員会
・中森 泰三 氏(横浜国立大学)

2.ISO海外派遣

- 1)ISO/TC190総会

期 間:2009年11月1日~11月7日

訪問国:韓国・ソウル

派遣者:坂井委員(ISO/TC190/SC3/WG10運営WGリーダー),野上太郎委員,肴倉宏史委員,
中森泰三委員,中島誠委員,王寧委員

理 由:年1回開催されるTC190の総会で、今年は24回目となる。我が国がconvenerを務めるSC3/WG10等、平行してSCおよびWGの会議が約30開催され、継続的に派遣を行ってきており、各SCおよびWGでも中心的なメンバーとして活躍している。

費 用:中島委員と王委員は、土壌環境センターが旅費を負担。野上委員は、経済産業省受託事業での対応。

坂井委員は、「平成20年度重点TC等国際会議派遣委託事業(TC182,190,221)」としての旅費支援の内諾を得ている。肴倉委員と中森委員は地盤工学会負担。

3.JIS改正素案(1件)の学会内公示

・以下の改正素案を地盤工学会誌平成22年2月号に公示する予定である。

JIS A 1221 スウェーデン式サウンディング試験方法

4.基準部所管刊行物(既刊本)の増刷

- 1)地盤調査-基本と手引き・・・1000部増刷
- 2)コルゲートメタルカルバート・マニュアル・・・300部増刷
- 3)新規制定地盤工学会基準・同解説書「岩石の工学的分類方法」・・・200部増刷

5.平成21年度ISO対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	検討中				
・三菱総合研究所(回答作成)	60万円			2/26	
・三菱総合研究所(重点TC旅費)	160万円				
・経済産業省		350万円		3/16	
小計	220万円	350万円	: 上限, 予算は 620 万円		
合計	570万円				

6. 小冊子「岩の調査方法の基準・解説書 平成 21 年度版」の発刊

- 1) 掲載基準: 埋設ひずみ法による初期地圧の測定方法
円錐孔底ひずみ法による初期地圧の測定方法
ポアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法
ポアホール・エクステンソメータによる岩盤内変位測定方法

2) 印刷部数: 200 部

3) 販売価格: 会員特価 1,500 円, 定価 2,100 円(ともに税込)

* 上記、1~6 について、江藤理事から報告がなされた。なお、4 の 1) については、毎年 500 部販売していることから、改訂までの必要部数として、1000 部印刷することの報告があった。

その他

* 風間部長から、名誉会員、功労章について、各支部から積極的に推薦してほしいとの要望がなされた。また、外国人については、国際部から推薦するが、支部からも積極的に推薦してほしいことも報告された。

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり署名する。

平成 21 年 11 月 27 日
社団法人 地盤工学会

議 長 浅 岡 顕

議事録署名者 風 間 基 樹

議事録署名者 坪 田 邦 治

この謄本は、正本と相違ありません。

平成 年 月 日

社団法人 地盤工学会

会 長 浅 岡 顕